

## 古文書講座

今年度は『カミソリと柿渋で作った「下文」 紀州藩軍学者宇佐美定祐文書を解きほぐす』と題するテーマで五回の講座を実施しました。講師は当館嘱託研究員の遊佐教寛が務めました。各回の講座内容は次の通りです。

<b>第1回</b>	「下文」の観察	7月21日(土)
<b>第2回</b>	作者は誰だ	7月28日(土)
<b>第3回</b>	「極札」 <small>きわめふた</small>	8月5日(日)
<b>第4回</b>	「頼宣」状	8月11日(土)
<b>第5回</b>	宇佐美を名乗る	8月18日(土)

特に今年度は、紀州藩軍学者宇佐美定祐文書が作成された背景についての謎解きを行いました。そして各回とも、当館所蔵の古文書を講座資料として用い、その読解の練習をしていただきました。

●(講座アンケートより抜粋)

「宇佐美定祐が生身の人として感じられた。謎解きが面白かった。」  
 「毎回古文書の現物を見ることができ大変よい勉強になりました」  
 「こういう切り口から古文書のおもしろさを展く手法があることに感じました。」



講座風景



古文書の展示

## パネル展示のお知らせ

文書館入り口前のエントランスでは、「紀伊国名所図会等」にみる今昔・岩出市と紀の川市の風景」と題したパネル展示を開催中です。

まず、岩出市の大宮神社周辺、紀の川の諸井橋周辺、長田観音、藤崎及び鞆淵八幡神社等を取りあげ、江戸末期の名所図会の絵図と明治末期の昭和初期から現在にいたるまでの景観の変化を目で見てお楽しみ頂きます。



明治末期の藤崎

このうち「長田観音の境内の移り変わり」では、昭和三十六年の第二室戸台風によって一階部分が押しつぶされるようにして崩壊したため、現在では観られない三重塔をはじめとして建物の変化を紹介しています。又、「藤崎の風景の移り変わり」では、かつて「碧岩白砂、奇勝かぎりなし」と謳われ、紀ノ川随一の風光を誇った藤崎の古写真と現在の風景を見比べて頂けます。展示は十二月末まで。

## 文書館の利用案内

### 利用方法

閲覧室受付にある目録等で必要な資料、文書等を検索し、閲覧申請書に記入のうえ受付に提出してください。文書等利用の受付は閉館30分前までです。

閲覧室書棚に配架している行政資料、参考資料は自由に閲覧してください。複写を希望される場合は、複写承認申請書に記入のうえ受付に提出してください。複写サービスは有料です。

### 開館時間

火曜日～金曜日  
午前10時～午後6時  
土曜日・日曜日・祝日及び振替休日  
午前10時～午後5時

### 休館日

月曜日(その日が祝日又は振替休日と重なるときは、その後の平日)

年末年始(12月29日～1月3日)

館内整理日

1月4日(その日が月曜日ときは5日)

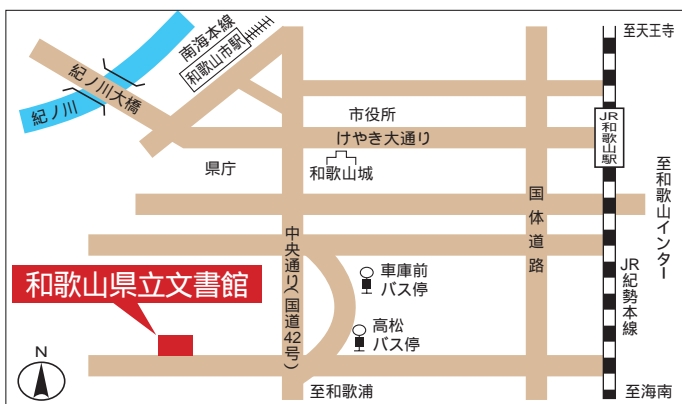
2月～12月 第2木曜日

(その日が祝日と重なるときはその後の平日)

特別整理期間 10日間(年1回)

### 交通のごあんない

和歌山バス高松バス停下車徒歩約3分  
JR和歌山駅からバスで20分  
南海電鉄和歌山市駅からバスで20分



ホームページアドレス <http://www.wakayama-lib.go.jp/monjiyo/>

和歌山県立文書館だより 第22号  
平成19年11月30日 発行  
編集・発行 和歌山県立文書館  
〒641-1005  
和歌山市西高松一丁目七 三八  
きのくに志学館内  
電話 〇七三 四三六 九五四〇  
FAX 〇七三 四三六 九五四一  
印刷 有限会社隆文社印刷所